

申立書

作成例

住民票に異動は無いが、既に入居済みである場合で、該当家屋所在地と住所が異なる場合に入居済みであることを疎明する書類として使用できます。
(従前から住所に異動がない場合でも、該当家屋所在地と住所が一致していることが分かれば申立書は不要です。)

〇〇年 〇月 〇日

作成した日にちを記入してください。

藤沢市〇〇1丁目〇〇〇〇番〇号

〇〇 〇〇

住民票記載のとおり住所・氏名を記入してください。

私の住民票の住所は、従前家屋に居住していたと記載されている家屋に、又は取得しました家屋には、次のとおり既に入居済みであること、当該家屋について、自己の住宅の用に供していることに相違ありません。

登記簿記載のとおり記入してください。

1 家屋の表示

所在地 藤沢市 〇〇1丁目〇〇〇△番地△
家屋番号 〇〇〇△番△

理由は具体的に記入してください。

2 理由 { 従前家屋の隣接地に住居を建て替えたもので、家屋の所在地は変わるものの住居表示に変更がないため }

従前居住していた家屋は次のとおりです。

- 従前家屋は、 年 月 日取り壊し予定です。
- 従前家屋は、 〇〇年 〇月 〇日取り壊し済みです。
- 従前家屋は、引き続き親族「 」が居住します。
- 従前家屋は、親族「 」所有です。

入居日 〇〇年 〇月 〇日

新築した家屋に実際に入居した日にちを記入してください。

< 従前家屋が親族の(居住・所有)の場合 >
上記の理由に相違ありません。

親族住所

親族署名

なお、住宅用家屋証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。

※申立書は本人が作成してください。(押印は不要です。)